

## 予防接種の記録の方法

国立感染症研究所 感染症情報センター 菅原民枝 安井良則

(本原稿は、「保育通信 2011 年 4 月号 No.671 P.30～36」の一部です)

### ◆予防接種の記録

表1は、ある保育所(園)で作成された予防接種の記録票です。予防接種と罹患状況の両方の記録をとるというものですが、いくつか問題があります。

表1 予防接種の記録(問題点の多い記録票です)

| 組 氏名( )  |       |      |       |
|----------|-------|------|-------|
| 予防接種     | 年 月 日 | 罹患状況 | 年 月 日 |
| ツベルクリン反応 |       |      |       |
| ポリオ      |       |      |       |
| 三種混合     |       |      |       |
| 麻疹       |       |      |       |
| 風疹       |       |      |       |
| おたふくかぜ   |       |      |       |
| みずぼうそう   |       |      |       |
| 日本脳炎     |       |      |       |
| インフルエンザ  |       |      |       |
| その他      |       |      |       |

問題点を挙げてみます。

(1)記載日がわかりません。いつの段階のものなのかがわからず、情報が更新されているのかどうか明らかではありません。いつの時点で未接種なのか、未罹患なのかを確認し、最新の情報にしないと、感染症対策に役立つ情報にはなりません。

(2)母子手帳で確認したのか、保護者の記憶による確認なのかがわかりません。保護者の記憶によるものは、罹患したと思い込む、接種したと思い込む場合があります。以前、水ぼうそうに罹ったのに、はしか(麻しん)に罹ったと思い込んでいた保護者もおられました。その結果、接種機会を逃してしまうことがあります。罹患せず接種機会を逃したままで、成人になってから麻しん、風しん、みずぼうそう、おたふくかぜなどに罹ると、重症化することも少なくありません。

(3)現在では実施していない、または混合になっている予防接種があります。具体的には、ツベルクリン反応検査は、そもそも検査であって予防接種ではありません。かつて結核予防法によって実施されていた検査で、陰性者にBCGワクチン接種を行うというものでしたが、現在はありません。

現在は、生後 6 ヶ月までにツベルクリン反応検査なしに直接 BCG ワクチン接種を行っているので BCG と書き改めます。また、罹患状況では結核となります。一方、麻疹、風疹は、現在はほとんどが、麻疹風疹混合ワクチン(MR ワクチン)となっています。しかし、罹患状況では、麻疹と風疹にわけます。

(4)接種回数がわかりません。種類によって、接種回数が 1 回のものから 4 回のものまであるので、それに対応できるようにします。

(5)現在の予防接種は、定期接種と任意接種があります。その種類が混在しないような調査票が望ましいです。任意接種できるワクチンとして、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌 B 型)、小児用肺炎球菌のワクチンなどがあります。

表 2 に現在の定期接種及び任意接種の種類と接種回数、標準的な接種年齢を示します(2010 年 8 月 27 日現在、日本の定期/任意予防接種スケジュール)。現在 0-5 歳の保育園に通う園児を対象としたものを書き出しました。

表 2

|      |                                | 接種回数        | 標準的な接種年齢       |
|------|--------------------------------|-------------|----------------|
| 定期接種 | BCG                            | 1 回         | 0 歳            |
|      | ポリオ                            | 2 回         | 0 歳            |
|      | 三種混合 : DTP (ジフテリア、破傷風、百日咳) 1 期 | 1 期 4 回     | 0 歳及び、1 歳半～2 歳 |
|      | DT(ジフテリア、破傷風)2 期               | 1 回         | 11 歳           |
|      | MR(麻疹、風疹)1 期                   | 1 回         | 1 歳            |
|      | MR(麻疹、風疹)2 期                   | 1 回         | 5～6 歳          |
|      | 日本脳炎 1 期                       | 3 回         | 3～4 歳          |
|      | 日本脳炎 2 期                       | 1 回         | 9 歳            |
| 任意接種 | おたふくかぜ                         | 1回(または 2 回) | 1 歳            |
|      | みずぼうそう                         | 1回(または 2 回) | 1 歳            |
|      | Hib(インフルエンザ菌 B 型)              | 4 回         | 0 歳及び、1 歳半～2 歳 |
|      | 小児肺炎球菌                         | 4 回         | 0 歳及び、1 歳半～2 歳 |
|      | インフルエンザ                        | 毎年 2 回      |                |
|      | その他                            |             |                |

そこで、「予防接種歴・罹患歴調査票」を表 3 に載せます。これは、国立感染症研究所感染症情報センター作成のもので(2011 年 3 月作成)。

この調査票の特徴は、

(1)保育所(園)に入所園から、卒園までの期間を通して利用することができます。毎年決まった時

期に調査をし、更新をして、記載日を記録することができます。

(2) 予防接種と罹患状況を両方把握することができます。

(3) 母子手帳で確認したのか、保護者の記憶による確認なのかをはっきりさせることができます。

(4) インフルエンザについても記載することができます。多くの予防接種が0歳または1歳で接種が行われているので、2歳以上のクラスでは、予防接種の記録が更新されていないことがあるようです。一方で、インフルエンザは毎年の接種ですので、インフルエンザワクチンの接種歴の調査をきっかけにして、全ての園児を対象にワクチン接種歴を記載することができ、情報を更新することができます。また、インフルエンザの予防接種、罹患状況を記載することで、インフルエンザ対策の評価が可能となります。もちろん、MR2 期を卒園までにしているかどうかを把握することも非常に重要です。このことは後ほど説明します。

現在予防接種スケジュールは、感染症情報センターのホームページにあります。あわせてご参照ください。<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/dschedule.html>